



# 丹波の森 ワイルドライフ講座

TAMBA'S FOREST WILD LIFE PROGRAM

LET'S GO OUT INTO NATURE!

お申込はコチラ！



CHECK HERE

日程：2022 8/2(火)～5(金)

場所：ユニピアささやま

人数：先着15名

参加資格：中学生、高校生、大学生、社会人などおおむね30歳くらいまで

自然に飛び出せ！野生動物の知られざる世界を体験しよう！

## 丹波の森 ワイルドライフ講座

丹波地域では、1988年の「丹波の森宣言」に基づいて「丹波の森づくり」が進められています。その一環として当初より、初代の丹波の森公苑長である河合雅雄先生の理念のもとに「縄文の森塾」が小学生を対象として継続して開催されています。近年では、生物多様性の保全と農林業の活性化のために、丹波の森の再生(グリーンリカバリー)が大きな課題となっており、それに関わる人材育成も必要となってきています。

そこで交益財団法人兵庫丹波の森協会では、「縄文の森塾」のアドバンスコースとして高校生や大学生などを対象とした「縄文の森コース躍動プロジェクト」を開講することになりました。

この講座では、野生動物の生態や行動、生態系の構成員としての役割について理解を深めます。さらに、人と野生動物の歴史や現代における課題を知り、人と野生動物が共生可能な社会のあり方について考えます。

そのために、本講座では野生動物の専門家による講座に加え、丹波地域の森に飛び出し、野生動物の存在を肌で感じられる講座内容を用意しています。



- ・センサーカメラを使った野生動物の生息調査
- ・獣害対策現場見学
- ・丹波篠山の地元農家さんへのインタビューなど、

この夏、ここにしかない学び、出会いがあなたを待っている！

3泊4日で野生動物との共生を考えるプログラム

参加費 20,000円(宿泊費、食費含む)

# 参加者募集！

応募締め切り

7月26日(火)まで!

【主催】公益財団法人 兵庫丹波の森協会 (丹波の森研究所) 【企画運営】特定非営利活動法人 里地里山問題研究所  
※この事業(縄文の森コース躍動プロジェクト)は、兵庫県丹波県民局の助成を受けて実施しています。

# 丹波の森 ワイルドライフ講座

フィールドに飛び出そう！  
野生動物を身近に感じる3泊4日の濃密な時間

8/2 【獣害対策現場訪問】  
(火)

DAY1

8/3 【ニホンジカの生態に迫る！】  
(水)

DAY2

13:00 ガイダンス・個人目標の設定  
14:30 獣害対策現場訪問  
・ICT捕獲檻の見学  
・農家さんへのインタビュー  
・夏野菜の収穫体験  
17:30 食事準備  
18:30 夕食  
19:30 入浴  
20:30 翌日の確認  
21:00 就寝

9:00 前日の結果まとめ  
12:00 昼食  
13:00 ニホンジカの生態・行動について  
15:30 シカ・イノシシの痕跡調査  
センサーカメラの設置  
17:30 入浴  
18:30 食事  
19:30 ライトセンサス調査へ出発  
21:00 就寝

8/4 【ニホンザルの生態に迫る！】  
(木)

DAY3

8/5 【全体のふりかえり】  
(金)

DAY4

8:00 朝食(センサーカメラの回収)  
9:00 前日の結果まとめ  
12:00 昼食+休憩(自由時間)  
15:00 ニホンザルの生態・行動について  
17:00 休憩  
17:30 入浴  
18:30 食事  
19:30 ニホンザルの性別・年齢判別  
21:00 就寝

6:15 朝食  
7:00 出発  
8:00 ニホンザルの行動観察  
11:00 ふりかえり(ニホンザル)  
12:00 昼食  
13:00 全体のまとめ発表  
14:00 目標に対する振り返り・感想共有  
15:00 終了・解散

魅惑の野生動物の世界を体感・体験する4日間

開催プログラム

## 講師紹介

TEACHER



中川 尚史 京都大学 大学院理学研究科生物科学専攻 教授 『ニホンザルの地域特性と個性』

人類に近縁な類人猿ではなく、“ふつう”のサルを研究することから、人類の起源と進化を探ることを目指し、金華山島と屋久島を中心としたニホンザルの地域比較研究、カメルーン・カラマルエでのパタスモンキーとタンタルスモンキーの種間比較研究を行ってきた。  
昨年コロナ禍にも関わらず、新たにガーナ・モレでパタスモンキーの調査を始めてワクワク・ウキウキしている。



大西 信正 株式会社生態計画研究所 副所長/早川事業所所長 『シカの生態について』

宮城県の金華山島で、個体識別をしたニホンジカの研究を行う(1989年~2007年)。識別され家系が分る個体は900頭を超える。1992年より長野県軽井沢の糺ピッキオで17年間自然ガイドとして活動。  
現在は(株)生態計画研究所に所属。山梨県早川町に赴任し自然環境保全と地域活性化に取り組んでいる。  
モットーは「思いやりの心と科学の目」。

【お問い合わせ先】 さともん

特定非営利活動法人  
里地里山問題研究所

〒669-2214 兵庫県丹波篠山市味間新315 里地里山問題研究所(さともん)  
TEL/FAX : 079-550-9037 MAIL : info@satomon.jp